

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary

ロータリー：
変化をもたらす



2017年10月度 例会報告

■ 第1273回 10月度 第1例会 (2017年10月6, 7, 8日)

会長挨拶 前略、平素のご厚情に感謝申し上げます。さて、過日の「日本グランプリ2017」にはご遠方にもかかわらず鈴鹿の地までおいでいただきましたこと、また当クラブが設営いたしました「友愛の広場 in SUZUKA」にご参加いただいたこと、併せまして心より感謝申し上げます。皆様には何かとご不便をおかけしたと思いますが今回に懲りず、またのご来場を当クラブ会員一同心よりお待ちしております。貴クラブ様の益々のご発展を祈念しご来場の御礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。

例会内容 友愛の広場 in SUZUKA / 会長、幹事

ビジター	東京日本橋ロータリークラブ	泉部 充 様	ご友人1名
	京都平安ロータリークラブ	仲井 直之 様	
	羽衣ロータリークラブ	藤沢 直史 様	
	平塚ロータリークラブ	鳥山 優子 様	ご友人2名
	京都洛北ロータリークラブ	浅井 政則 様	ご友人5名
	山形中央ロータリークラブ	伊藤 和子 様	
	伊予三島ロータリークラブ	山内 一正 様・大西 克弘 様	
	横浜南央ロータリークラブ	朝倉 昌人 様・吉原 皓一郎 様	
		笹本 和博 様・青木 隆明 様	
		久留 圭一輝 様・ご友人3名	
	川口ロータリークラブ	渡部 行光 様	令夫人
	京都伏見ロータリークラブ	山本 章雄 様	
	江南ロータリークラブ	岩田 静夫 様	
	亀山ロータリークラブ	村山 竹則 様	
	行橋ロータリークラブ	福島 小太郎 様	
	荻田ロータリークラブ	國永 修一 様	ご友人1名
	四日市西ロータリークラブ	多田 望 様	ご子息1名
	桑名ロータリークラブ	水谷 新平 様	

出席報告

例 会 日	会員数	出席者	欠席者	出 率
10月 6,7,8 日	12 名	12 名	0 名	100%

2週間前の補正後出席率 12名中 11 名 91.67%

ニコボックス 平塚RC 鳥山優子……毎年友愛のコーナーの設置ありがとうございます。今年も楽しみに来ました。ロータリー友にも掲載されていたので宣伝しました！ホッとできる友愛のコーナー続けて下さいね。



■ 第1274回 10月度 第2例会 (2017年10月12日)

例会内容 友愛の広場 慰労懇親会 / クラブ奉仕部門

会長挨拶 先週に行われました「友愛の広場 in SUZUKA」にはご苦勞様でした。おかげさまで無事に終了し、ご来場いただいた皆様にも喜んでご帰宅いただいたと思います。当クラブは小さなクラブですが、この事業のおかげでまたこれを広報していることも併せて全国的に鈴鹿ベイロータリークラブの名を馳せていると感じています。

今後とも有意義な活動と広報をもってロータリー活動を意義あるものに進めたいと思います。ありがとうございました



出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
10月12日	12名	8名	4名	66.67%

2週間前の補正後出席率 12名中 11名 91.67%

■ 第1275回 10月度 第3例会 (2017年10月14・15日)

例会内容 地区大会 参加 / 会長・幹事

会長挨拶 鈴鹿ベイロータリークラブの皆様、ご多忙の中にもかかわらず地区大会へのご参加をありがとうございました。たいへん盛大な また伊賀地方の特色を前面に引き出した素晴らしい地区大会であったと感じました。私たちも途中では美味しいお蕎麦を頂き大会では有意義な講演を聞き、楽しく有意義な一日を過ごさせていただいたと思います。ありがとうございました。



出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
10月14・15日	12名	8名	4名	66.67%

2週間前の補正後出席率 12名中 12名 100%

■ 第 1 2 7 6 回 1 0 月 度 第 4 例 会 (2017 年 10 月 19 日)

例会内容 講師例会 / 会長・幹事

地区財団部門ポリオプラス小委員会 委員長；故金正司 様

会長挨拶 会員のみなさま地区大会出席ありがとうございました。ご講演をいただいた「2018 年 R I 研修 2 ゾーン リーダー第高野孫左エ門氏」の話の中でケンタッキーフライドチキンのカーネル・サンダースがロータリアンだと教えていただきました。昔、カーネル・サンダースの呪い都市伝説がありました。昭和 60 年阪神ファンが、カーネル・サンダースの像を道頓堀に投げ入れた因果で翌年以降の同球団の成績が低迷したとされる。カーネル・サンダースの像にはロータリーバッジがついています。

本日 11 月 19 日はボージョレー・ヌーヴォーの解禁日です。1967 年、生産者の早出し競走による品質低下を防ぐためフランス政府が解禁日を 11 月 15 日に制定、しかし土日に当たると販売に影響が出たため 1985 年に 11 月の第 3 木曜日に改定されました。ボージョレー地区北部に位置する 39 の村で収穫された、より高品質の葡萄から熟されるヌーヴォーだけがボージョレー・ヴィラージュ・ヌーヴォーを名乗ることができるそうです。

幹事報告 磯部弘生 幹事

- ・東京日本橋 R. C. より友愛の広場の御礼状とバナーが届いております。
- ・川口 R. C. 渡部行光様より友愛の広場の御礼状が届いております。
- ・独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院より広報誌「鈴鹿の風」第 3 1 号が届いております。

出席報告

例 会 日	会員数	出席者	欠席者	出 率
10 月 19 日	12 名	10 名	2 名	83.33%

2 週間前の補正後出席率 12 名中 8 名 66.67%

ポリオ撲滅に向けて

地区財団部門ポリオプラス小委員会 委員長；故金正司

ロータリーは、1979 年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、パートナー団体とともに懸命に活動を続け、全世界でポリオの発症数を 99.9 パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆さまからの支援が欠かせません。支援にはさまざまな方法があります。わずかな時間でも、長時間を費やしての支援でも、世界でポリオを撲滅して、子どもたちを一生ポリオから守るために、“一人ひとりにできること”を実行することが大切です。

ロータリアンはこれまで、122 カ国、20 億人以上の子どもたちへのポリオ予防接種を支援してきました。わずか 60 円ほどのワクチンで、一人の子どもを生涯、ポリオから守ることができます。ポリオプラス基金へのご寄付は、ポール・ハリス・ソサエティの認証対象となります。クラブや地元地域で募金活動を行って、ポリオ撲滅活動にご協力ください。



■ 11月の「ロータリー財団月間」に向けて

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。創立以来 100 年間、私たちの財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額 30 億ドルの資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

ロータリー財団に寄付する理由のご寄付の 90%以上が、奉仕プロジェクトに直接生かされます。私たちは透明性を重視し、責任ある資金管理を行っているため、安心してご寄付いただけます。

ロータリーの活動分野

【平和の推進】 毎年、紛争と暴力によって数百万人が故郷を追われています。紛争で命を落とす人の 90%が罪なき一般市民であり、その半分以上が子どもです。このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

【水と衛生】 きれいな水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利なのに汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。きれいな水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、社会全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。

【母子の健康】 毎年、5 歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定 590 万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

【教育の支援】 読み書きのできない 15 歳以上の人の数は、世界に約 7 億 7500 万人。これは、全世界の成人の 17%にあたります。

しかも、学校に通っていない子どもは世界に 6700 万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。

【地域経済の発展】 雇用されているにもかかわらず 1 日にわずか 1 ドル 90 セント（約 220 円）で暮らしている人の数は、世界で約 8 億人。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。ロータリー会員とロータリー財団は、自立に役立つスキルの指導、家計を支えるための就職支援等を通じて、人びとと地域社会の自立を促しています。

【疾病との闘い】 基本医療を受けられない人は世界で 4 億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。世界で数百万人が病気によって苦しむ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設を造り、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。